

議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28.11.8 20:00~21:22)

会場(市民ホール)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|---|---|---|--------------------|----|----|-----|
| | | | | 参考 | 報告 | 回調査 |
| 1 | 前回の議会報告会での質問について、後日に回答するとのことであったが、一部を除き、いまだに回答をいただけていない。早急に回答願いたい。 | 当日いただいた意見は議会だより及びホームページで回答することとしている。質問については広報広聴会議で整理をして所管の委員会で検討を行いホームページ等に掲載することとしている。 | 広報広聴 | | | |
| 2 | 議会だより10ページ、齊藤議員の一般質問に対しての市長の発言は学歴と幸福感を関連付けている差別的な考え方である。なぜ再質問をしなかったのか。そしてなぜこのような誤解を与えるような表現を残したのか。 | 例え話であり差別的な内容でもない。大学の研究結果で論文にもなっている。 | 広報広聴 | | | |
| 3 | 特別委員会が設置され期待している。スタジアム関連の費用の50億円は議会で決まったのか。現状の治水対策での駅北土地区画整理事業地でのスタジアム建設については反対である。保津町は賛成という報道があったが、保津町全員の総意でない。全議員が治水対策について考えて頂きたい。特別委員会で災害対策について大いに議論してほしい。 | 平成26年8月に総務文教常任委員会の中でスタジアム関連の費用は50億円を超えないことと指摘した。特別委員会としては、今後も市長に対して遅滞なく情報を提供していただくよう強く言っていく。11月22日に開催される市民対象の説明会での意見を聴いたうえで今後進めていきたい。 | 京都スタジアム(仮称)検討特別委員会 | | | |
| 4 | スタジアムの用地買収に関する住民投票条例案の反対討論の中で、スタジアムが完成すれば商業施設や宿泊施設等の投資が増え、税収が増えることと確信しているとの発言があったが、具体的に税収がどう増えるのか。 | 反対討論での発言は議員個人の考え方で発言している部分があるため、お答えできない。 | 京都スタジアム(仮称)検討特別委員会 | | | |
| 5 | 新たなスタジアム建設予定地は、車で来た場合は保津橋を通り府道王子並河線やクニッテルフェルド通を通る。関係車両だけでも600台や700台と言われているが、どのように通すのか。治水対策が出来ていない。駅北には、桂川の高水敷の土以外に山砂利を搬入している。山砂利にはシアンや六価クロムが含まれている可能性が極めて高いと思われるが、チェックしているか。北地区の土砂の一部が曾我谷川の管理用通路の横にある農業用水路に流れ込んでいる。現場を見て委員会で審議すべきである。 | 特別委員会への要望とさせていただきます。 | 京都スタジアム(仮称)検討特別委員会 | | | |
| 6 | 検討特別委員会でのスタジアムの用地買収に関する住民投票条例案についての反対討論で「住民投票を実施した場合、市民から負託を受けた議員としての責任を果たすことができない。」とあるがどういう意味なのか説明いただきたい。 | 個人的な質問であるので回答は差し控えさせていただきます。特別委員会で賛成、反対討論があったが、議会だよりの紙面上では要約した記載になっている。 | 京都スタジアム(仮称)検討特別委員会 | | | |
| 7 | 先ほど「市民から負託を受けた議員としての責任を果たすことができない。」とあったが、議員にすべてのことを負託したのではない。市民から住民投票実施の声を聞かないとあるが、3年前から住民投票を実施してほしいという声はある。市民への情報提供がない。11月22日に説明会が開かれるようだが、本当に市民が求めているような説明会にしたいのであれば、京都府を呼んで説明していただきたい。 | 今までは全員協議会で説明を受けていたが、これからは特別委員会で議論していくのでご理解いただきたい。11月22日の説明会では、これまでの経緯を含め説明を行い、市民の方と意見交換を行いたい旨を執行部から聞いている。 | 京都スタジアム(仮称)検討特別委員会 | | | |
| 8 | 特別委員会の委員は治水対策の知識が無い。それぞれ責任を持ってもっと勉強して欲しい。 | | 京都スタジアム(仮称)検討特別委員会 | | | |

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28. 10. 27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会)

テーマ(①災害からの安全安心、②少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|---|---|--|--------------|----|----|-----|
| | | | | 参考 | 報告 | 回調査 |
| 1 | 毘沙門区には3つの谷に関わって危ない箇所があるということで、要望を出している。先般、市長、議長には見ていただいた。雨が降ったら現場を見て回っているが、災害が起こる時は普通の雨ではない。いつ災害が起こるかかわからないので要望しているが考慮してもらえない。なかなかできないと思うが見ていただきたい。 | 3つの川の対策が非常に遅れているという指摘であったと思う。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 2 | 出雲区に堤防ができるが、二つの山が一緒になっている出雲台区には小さなダムしかなく、逃げる場所もないので見ていただきたい。 | | 総務文教 産業建設 | | | |
| 3 | 今年度、小口区の南側に堰堤を造っていただいた。しかし、あと2つの谷がある。以前から要望を出しているが、なかなか聞いてもらえない。予算の面や他にも危険箇所があるのは承知しているが、少しずつでも手を付けていただけたらと思う。 | | 総務文教 産業建設 | | | |
| 4 | 中谷川上流に砂防堰堤がある。大雨が降るとかなりの土砂が溜まる。府民公募型事業で毎回要望を出している。現状では問題ないという回答であった。土砂だけでも浚渫していただきたい。砂防堰堤は、本来、浚渫するものではなく、いっぱいになったら次のものを造るということになっているそうだが、その考え方が本当によいのかどうか。新しいものを造るとなると予算がかかる。浚渫をすれば、予算は抑えられると思う。 | 中谷川の堰堤を市長に見てもらい、その後、どう対応をされたのか確認した。一町1件ということが行政側(府、市)にあるようで、中谷川の堰堤が今年完成するとのことである。引き続き、次の整備、水路の整備を進めるよう要望したところ、一つひとつ解決できるような体制づくりをしていくとの回答を得ている。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 5 | 果たして、小口区の避難場所はどこが安全かという、どこも安全とは思えない。自治会、さくら体育館までは遠い。そこまで避難するのは現実的ではない。状況に応じた避難の仕方をアドバイスいただきたい。 | 避難場所は、地域によって違う。逃げたところが危ないということでは絶対ダメなので、一番近くで安全な場所は、自治会の方でもお示しいただく中で、どうしたらよいかということは行政の立会いのもと、地域毎の安全な避難場所、避難経路を考えるのがよい。手助けできることがあれば、議会から執行部の方に申し伝えたいと思う。山裾に位置するこの地域の特性を理解し、災害に対する予算が提案された時は速やかに賢明な判断をしていきたい。緊急避難場所、避難施設等について、京都府を含めて見直し作業が始まっていると思うので、自治会の方でもいざという場合に直ちに行く場所と、長期間滞在を視野に入れなければならない場所を考えていかなければならないと思う。 | 総務文教 | | | |
| 6 | 中区では、ワークショップを何回も実施して、シミュレーションを行った。皆が意見を出し合って、安心安全マップを作成した。。それぞれの区で、このようなものを作っていかなければならないと思っている。集合場所として示されているものが、危ないのではないか。避難勧告が出た時に、どこへ行けばよいのかということが、今日の心配点である。避難場所のことは予算に関係なくできるということで、頑張らなければならないと思っているが、このようなものを作っていくとなると、サポーターが必要。専門的な知識のある方などにきていただいたら進みやすい。 | | 総務文教 | | | |

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28. 10. 27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会)

テーマ(①災害からの安全安心、②少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|----|---|---|--------------|----|----|-----|
| | | | | 参考 | 報告 | 回答査 |
| 7 | 江島里区も山は低いが谷がある。すぐに水が漬くので心配。治山ダムの要望を出しているが予算が通らないので、よろしく願いたい。 | いただいた意見は持ち帰って、各委員会で議論をして執行部に申し伝える。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 8 | そこに住んでいる住民の危機意識と行政の安全基準に相当のズレがあると思っている。住民は、治山、砂防のことを言われても仕組みがわからない。住民は年一回の要望のときしか声を出せない。対象事業ではないと言われたら、先に繋がらない。亀岡市、土木事務所、振興局など行政間の連携をとってほしい。例えば、千歳町から出している要望は、それぞれの機関が合同で危険箇所を年一回は見回りをして、どうなっているのか状況確認していただくようなことができないか。 | | 総務文教 | | | |
| 9 | 一町1件ということが適切なことなのか。一町で5、6件でも必要だということがわかってもらえれば。亀岡市、京都府、地元が継続して危険箇所のパトロールをしていただくようなことが出来たらと思う。(産廃では機動班が出ているが、それが防災に生かせないかという提案だった) | | 総務文教 | | | |
| 10 | 高齢者のための居場所カフェを高齢福祉課の事業に手を挙げて実施したが、民生委員の催しと重なってしまった。個々にやらないで一つでやればよいのではと感じた。活動しやすい体制があればと思う。誘い合い、声の掛け合いが大事である。京都市の事例に鑑みても、初めは公園の一角や空き家を借りて実施したという事例があった。今後、どこの地域でも居場所カフェ的なことは必要になってくる。良かったら地元で引き継いでやりたいという構想はある。幸いにも集いやすい要素は整っているの、あとは人の問題。行政のサポートや呼びかけがあればできると思う。 | | 環境厚生 | | | |
| 11 | 居場所カフェの事業をした同じ課の中に民生の担当もある。(カフェをした)パイロット試験データは色々あると聞いているが、それをどう生かされているのか。 | | 環境厚生 | | | |
| 12 | 千歳町には民生委員が3名おられ、非常に頑張ってもらっている。役割から考えると、もう少し人員を増やしてほしい。 | | 環境厚生 | | | |
| 13 | 民生委員が対象としているのは65歳以上。今後、団塊の世代が65歳以上になり、対象者が非常に増えてくる。全部を回るといふより、一人暮らしや日中家族がいないところを定期的に回っていかなければならないのではないか。しかし、訪問するだけではかえって迷惑ではないかとも感じる。 | 私の知っている民生委員も孤独死を発見した。孤独死となると、警察が立ち会って第一発見者の事情聴取等があり、色々大変であると聞く。 | 環境厚生 | | | |
| 14 | 民生委員は何かをするのではなく繋ぎ役であるが、あまりそのような要望がない。隣家の木が伸びてきているなど、身近な困り事について何かあれば手助けはしている。 | | 環境厚生 | | | |

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28. 10. 27 PM8:00~9:28)

会場(千歳町自治会)

テーマ(①災害からの安全安心、②少子高齢化の中で住みやすいまちづくり)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|----|--|---|--------------|----|----|-----|
| | | | | 参考 | 報告 | 回調査 |
| 15 | 通院の際の交通手段に困ったという声があった。調べてみると社協の福祉タクシー等の手段はあるようだ。しかし、問い合わせないとわからない。必要な情報がタイムリーに届けばと思う。 | ガソリン代を負担すれば、病院等へ送ってくれる制度「かめおかアッシー」がある。 | 環境厚生 | | | |
| 16 | 若い世代が折に触れて地域に帰ってくるような楽しみがあればと思う。例えば、集落毎の祭りや行事も行き来できるようになればよし、実施するための補助金等も考えてほしい。 | | 総務文教 | | | |
| 17 | 先程、議員から小中一貫校が出来たので、川東地域以外の他地域から川東学園に子どもを呼び込めないかという質問があった。それについては、一つの目標ではあったが実例はない。 | | 総務文教 | | | |
| 18 | 敬老会や伝統行事などをどのように住みよいまちづくりに生かしていくか。また、高齢者対策は、地域毎に考えてくださいという感じだろうが、大きなものは別として、地域の中で自分たちが責任を持ってやっていくことになるだろうと考えている。しかし、この指とまれ方式ではなかなかできない。千歳町の高齢者の中で、こういうことが望まれているということについて、優れたものから採択していただけるような制度があってもよいのではないか。 | 篠町は地区社協が中心になって、元気づくり体操をやっており、40、50人は来られている。自治会の2階は参加者でいっぱいになる。一度視察に行かれたらよいと思う。 | 環境厚生 | | | |
| 19 | 防犯灯の関係で、街路灯LED化のための市の補助金に制限があるため、数を絞って申請しなければならないということで悩んでいる。省エネ対策としての街路灯整備ということもあるが、この地域は街路灯が命の灯になると思う。安全で住みやすいまちづくりのために必要な問題であるという視点から捉え直してほしい。高齢者や通学する子ども達の交通事故防止対策として、必要なことである。 | 知事が、安全面については予算が無いから対応しないということはないと言っていたが、一町1件とかではなく、本当に必要なことをなぜできないのかと思う。色々な課題はあると思うが、地域が優先順位を決めて、自由に使える一括交付金ということを考えてらよいのでは。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 20 | 各地域の自主性に任せて使える交付金について、甲賀市を視察した。確かに、事務能力の問題もあり、一律に言うことは難しいが、高齢者対策のための交付金とか、目的を絞った形でしてもらえたら、地域で活用しやすいと思う。裁量を認めてやらせていただけるなど、そういう形の交付金はありがたい。 | 公募型で採用してもらって、それに対する交付金を出してもらおうような形については、あちこちから声もいただいているので、こういう機会にいただいた意見として議会に持ち帰り、市に提言していきたい。知恵を出し合ってまちづくりをしていくという提案をいただいたと思う。 | 総務文教 | | | |

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H28.10.29 13:30~15:10)

会場(ほんめ町ふれあいセンター)

| | 意見・要望などの概要 | 当日回答内容 | 所管 | 対応 | | |
|---|--|--|--------------|----|----|-----|
| | | | | 参考 | 報告 | 回調査 |
| 1 | 本梅町は農業のまちである。しかし、農業で食べていくことができない。どのような農業をしていけばよいのか。 | 少数精鋭による農業生産に取り組んでいただきたい。以前はトマト等の栽培が盛んであった。吹田方面、池田方面(大阪方面)への販路の拡大に向けて考えていきたい。 | 産業建設 | | | |
| 2 | 本梅町は栗の生産に適している。栗の産地化に向けて力添えをお願いしたい。 | 丹波栗の産地化など、ほ場整備を進める中で米以外の作物も検討いただきたい。河原林町では小豆で収益を上げているように本梅町でも他に負けないものを見つけられればいい結果が出ると思う。 | 産業建設 | | | |
| 3 | 有害鳥獣の問題について、防護柵では無理な状態にきている。有害鳥獣1匹に対し報奨金を大幅に増額すれば鹿はいなくなる。思い切った施策をお願いする。 | 11月15日から猟期に入る。猟期以外は亀岡市に有害駆除の申請をすれば対応いただけるのでうまく活用いただければと思う。 | 産業建設 | | | |
| 4 | 国道477号から平松地域、グリーンタウンへ行く市道について、ふるさとバスが通り通学路にもなっているが、国道から市道に出入りする車との離合が出来ない。通学時に万が一事故が起こると大変な事になるので、対応をお願いしたい。 | 市道平松中野道線の問題は平成28年3月定例会で強く申し入れをした。今後も強く申し入れしていきたい。 | 総務文教 産業建設 | | | |
| 5 | 国道477号の歩道の整備について。ほ場整備区域では、ほ場整備ができてから歩道設置という順番だが、ほ場整備区域外の部分は今すぐにでも工事は可能なので早くしていただきたい。 | 引き続き要望していきたい。 | 産業建設 | | | |
| 6 | 能勢町まで阪急バスが運行している。本梅町まで路線を延長できないものか。 | 能勢町もかなり補助金を出して現在のところまで運行しているのが現状であり難しい問題であるが、必要なことであると思う。 | 産業建設 | | | |
| 7 | 若者が定住するには、大阪方面へ職業や教育で結びつく公共交通の整備が必要である。 | 若者の定住促進に関して、空き家バンクを活用し、若い人にスローライフをしていただけるようにするなどしてみてはどうか。農家民泊についてもぜひ手を挙げていただきたい。 | 産業建設 総務文教 | | | |
| 8 | 亀岡駅方面にバスで行くには、公園ターミナル駅で乗り換えなければいけないので不便である。せめてガレリアかめおかまでバスが行ってくれば楽になる。 | 現在、ガレリアかめおかにターミナル機能を持たせる計画があり、その実証実験の最中である。運動公園のアクセスでは非常に不便で、駅まで直接行けるようになるのが理想だが、そこまでの話は出ていない。議会としても早くしていただきたい旨を申し入れている。 | 産業建設 | | | |
| 9 | 本梅保育所と東本梅保育所の統合について意見をいただきたい | 保育所の統合問題は、東本梅から本梅への子どもの送迎に時間がかかるうえに、送迎時に国道477号を渡らなければならないなど心配の声がある。また、駐車場用地が狭いなどの問題がある。平成30年に統合したい市の思いと地域の思いにかなりの距離がある。 | 環境厚生 | | | |

| | | | | | | |
|----|---|--|------|--|--|--|
| 10 | 婚活の取り組みについてどう考えるか。 | 桂川市長も府議会議員時代に婚活の質問をされていたこともあり、市としても後押しという形で動いてみるということであった。市長公室でアイデア等を募集したりするなどして取り組んでいる。 | 総務文教 | | | |
| 11 | 西部地域の緊急(消防・救急)体制の確立についてどう考えるか。 | 東本梅保育所の移転後の利活用について、具体的ではないが市長から消防あるいは救急の拠点にできればという話があった。 | 総務文教 | | | |
| 12 | 来年度以降の敬老事業について市としてどのように取り組む予定か。 | 敬老会自体は大事な事であるが、多額な経費をかけて行うか、経費をあまりかけずに行うかの選択は必要かと考える。 | 環境厚生 | | | |
| 13 | 介護保険を利用していない高齢者を対象にした事業を行っている。このような事業を亀岡市で展開していく必要性をひしひしと感じている。 | 外出支援等でも一番ネックとなるのが送迎の問題である。行きたくても足がなければ行けないという方が大勢いる。今後活性化をするために提案していきたいと思う。 | 環境厚生 | | | |

議会基本条例の検証に係る検討について

| 検討事項 | 検討内容 |
|--|--|
| <p>①「説明責任を果たす」に関して (課題点)</p> <p>当日、参加者の意見に対して回答できない場合、また、議員個人の見解を問われた場合等における対応について整理すべきである。</p> <p>仮に後日回答すると発言した場合、いつまでに、誰がどのように回答するのか。</p> <p>(方向性)</p> <p>後日回答とする場合や自治会・参加者から<u>回答を要望される場合等の取扱い</u>を明確化すべきである。また、<u>議員個人の見解等を問われた際の対応</u>も明確化すべきである。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当日回答できなかった意見への回答については、従前どおり次回の議会の各委員会で検討を行い議会だより及びホームページで回答する。議会報告会の開催時に回答方法についての説明、フロー図の配布を行い議会の対応方法の周知を図る。 ・議員個人の見解については質問の対象としない。(個人的対応とする) |
| <p>②「市民の意見を議会活動に反映させる」に関して (課題点)</p> <p>聴取した意見を所管委員会へ送付するのみで、議会としての意見処理後の対応が未整備ではないか。(ホームページ公開内容、調査回答の取扱い等も含めて)</p> <p>(方向性)</p> <p>所管委員会の<u>意見処理結果を議会として共有し、広報や政策提言に生かしていくような仕組みづくり</u>が必要である。また、<u>所管委員会で整理できない場合等もあり、議会としての対応を協議</u>すべきである。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・広報や政策提言に生かしていくようなシステムはすでにあるので、これまで通り聴取した意見については各常任委員会等で十分に協議をいただく。広報や政策提言に結びつくような意見については委員会もしくは議会全体で協議をしていく。 |
| <p>③「市民との意見交換の場を多様に設ける」に関して (課題点)</p> <p>各種団体との意見交換会の実施に関して、目的を持たずに意見交換会を行っても成果をあげることはできない。市政の課題に沿ってピックアップしたテーマに絞って行うべきであり、対象となる団体も多種多様にある中、取組方法について整理すべきではないか。</p> <p>(方向性)</p> <p><u>意見交換会の目的の明確化、取組方法に関して整理</u>すべきである。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から、わがまちトークの開催希望があった際は、事前に希望する団体と打ち合わせ及び調整を行い、目的・テーマを決定した後に実施している。 ・各種団体については今年度の開催希望がなく、今後広報の充実に努める。 |